

# アーノルド元帥と 米陸軍航空軍

A 5判ソフトカバー272頁  
本体 2,700円  
ISBN978-4-8295-0862-6



アーノルド元帥

源田 孝 (元防衛大学校教授) 著

アメリカ陸軍航空に大きな足跡を残したヘンリー・アーノルド元帥の一代記

20世紀初頭、陸軍の一部門として誕生した航空部隊が、第二次世界大戦での連合国の勝利に大きく貢献し1947年に陸軍、海軍と同格の第三の軍種「空軍」として独立するまでの歴史を概観。

- ❖エア・パワーの礎を築いたウィリアム・ミッチェルはなぜ空軍独立を強く主張したのか？
- ❖「ミッチェル・スクール」のリーダーとして、アーノルドはどうやってエア・パワーを強化したのか？
- ❖アーノルドが空軍独立の悲願を託したカーチス・ルメイが実行した対日戦略爆撃とは？
- ❖戦後の米空軍のドクトリンにもつながる陸軍航空軍の航空戦略思想とは？

ミッチェル、アーノルド、ルメイと続く戦略爆撃思想の系譜が理解できる本

## 第1部 アメリカ陸軍航空の創生

陸軍の草分けパイロット／第一次世界大戦の勃発／ミッチェルの啓蒙活動

## 第2部 戦間期のアメリカ陸軍航空

戦間期の陸軍航空隊とアーノルド／ヨーロッパでの危機の高まり／アメリカの重点正面はヨーロッパか太平洋か／戦略爆撃の道徳的問題／陸軍航空軍の戦争準備／航空機の開発

## 第3部 第二次世界大戦の航空戦

シェンノートとアメリカ義勇航空隊／真珠湾攻撃への道／真珠湾攻撃／太平洋航空戦、1942年／ヨーロッパ航空戦、1942年／地中海航空戦／第15航空軍の航空戦／太平洋航空戦、1943年／ヨーロッパ航空戦、1943年

## 第4部 勝利を決定した戦略爆撃

B-29の開発、生産、配備／太平洋航空戦、1944年／第21爆撃軍の対日戦略爆撃／ヨーロッパ航空戦、1944年から1945年／太平洋航空戦、1945年

## 第5部 戦後を見据えて

グローブスとマンハッタン計画／第二次世界大戦での航空戦の評価／カルマンの貢献／アメリカ空軍の独立／最期



ミッチェル准将



空母「ホーネット」の飛行甲板で発進準備中のドーリットル飛行隊のB-25爆撃機 (1942年)



ボーイングB-29 スーパーフォートレス



彼方まで続くフォード社のB-24爆撃機生産ライン。アメリカの圧倒的な戦時生産力を示している(1944年)



トルーマン大統領から防衛功労勲章を授与されるアーノルド(1947年)

5月中旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 4月28日(金) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033  
東京都文京区本郷3-3-13  
http://www.fuyoshobo.co.jp  
TEL. 03-3813-4466  
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
アーノルド元帥と米陸軍航空軍		
5月新刊 本体 2,700円	部	